下水道管に雨水が流れこまないようにしましょう

大雨の日には大量の雨水が汚水管に流れ込み、困っています。

雨水を流す雨樋などの排水設備が、誤って「下水道管」につながれていることや、排水設備の破損、汚水ますのフタを故意に開けられること等も原因の一つです。

マンホールから汚水が溢れ出る様子

処理場につながるマンホールから溢れ出る様子

令和元年１０月、台風の１９号の影響で、大量の雨水が下水道管（汚水管）に流れ込んだため、処理ができず、市内の一部地域でマンホールから汚水が溢れ出ました。

雨水が汚水管に侵入するとこんな悪影響も・・・

下水道がつかえなくなる

・トイレなど家庭の排水が流れなくなる。

下水道使用料の値上げにつながる

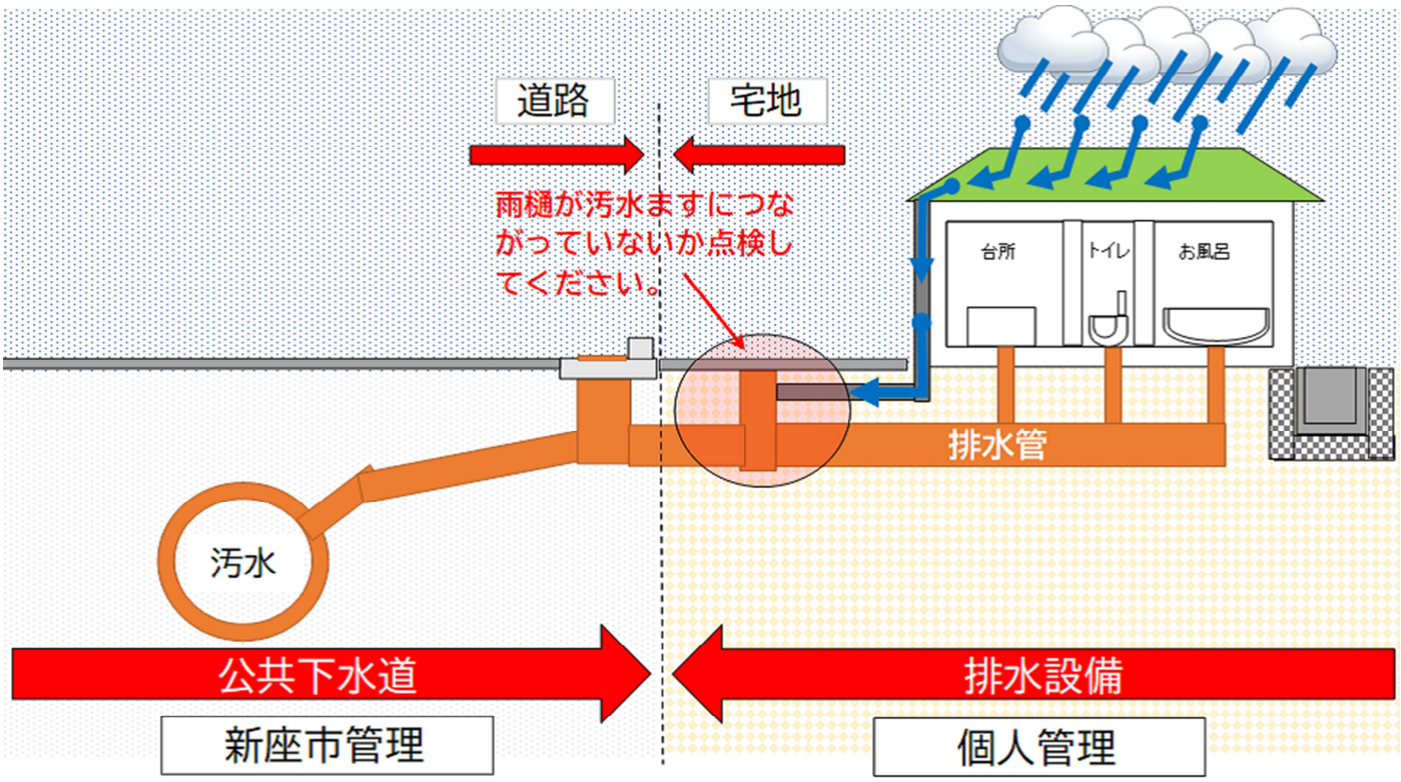
・大量の汚水を処理するため、処理費用が増大する可能性もあります。

河川の水質が悪化する

・処理場で通常の処理が行えず、放流先の河川の水質が悪化する。

こうしたことを防ぐためには、皆さんのご協力が必要です。

雨水が下水管に流れていないか確認をお願いします。



点検しましょう！

⇒　汚水ますに誤って雨樋がつながっていませんか？

⇒　破損していませんか？

※雨水を排水しようとして汚水ますのフタを開けてはいけません。

（汚水が溢れるおそれがあります！）

また、大雨時には、洗濯やお風呂などの残り水を流すのはお控えください。

皆さんの取り組みが汚水量の削減につながります！

汚水ますの場所や点検の仕方がわからない、破損が見つかった場合には、下水道課か排水設備指定工事店にご相談ください。

新座市　下水道課